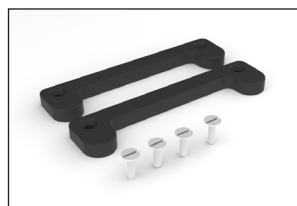
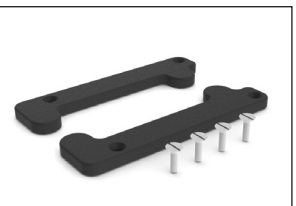
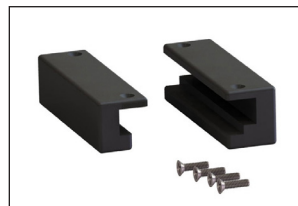
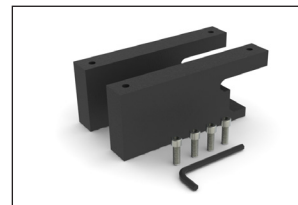
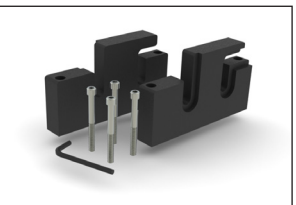
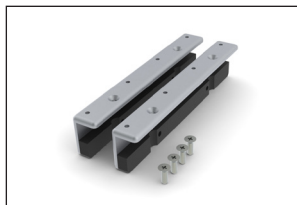
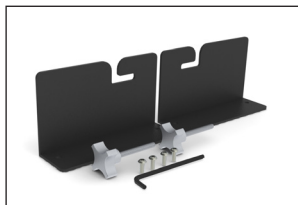
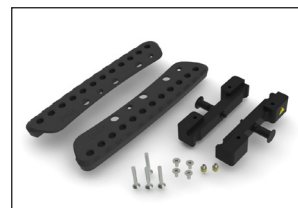
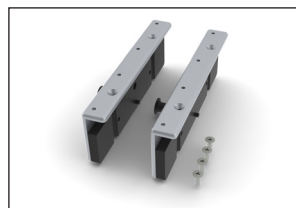
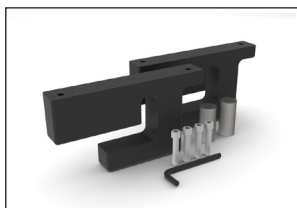
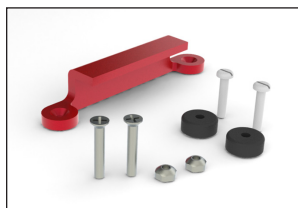


# 取付ガイドおよび取扱説明書

## インデックスアダプター



|                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                    |                                                                      |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|
|                                                                                                   | <b>UK Responsible Person</b><br>QServe Group UK, Ltd.<br>49 Greek Street<br>Soho, London W1D 4EG<br>United Kingdom |                                                                      |
|  Qfix<br>440 Church Rd,<br>Avondale, Pennsylvania,<br>USA<br>+1 712.737.8688<br>www.CQmedical.com |                                   | Raditec Medical AG<br>Schlossberg 5a<br>5454 Bellikon<br>Switzerland |

Portrait, Quantum、AccuFix、Cantilever Board、CURVE、BoS、Encompass、Hand Grip ArrayはQfixの商標です。

Exact®およびETR®はVarian Medical Systemsの登録商標です。

Medical Intelligence I-BeamはElekta ABの商標であり、Precise®はElekta ABの登録商標です。

ZXTおよびTXTはSiemens AGの商標です。

Med-Tec ProdigyおよびIPPSはCivco Medical Solutionsの商標です。

GeminiはPhilips Medical Systemsの商標です。

DiscoveryはGE Medicalの商標です。

# 一般的な使用上の注意

## 警告事項

記号およびその定義のリストについては、CQmedical.comを参照してください。

**！警告！本デバイスを改造することはできません。本デバイスの一部が大きな荷重を受けた場合、損傷しているように見える場合、または正常に機能しない場合は、直ちに使用を中止して、CQ MEDICAL (+1 712.737.8688 | +1 800.842.8688またはSUPPORT@CQMEDICAL.COM) までご連絡ください。**

アダプターは、Portrait™, AccuFix™ Cantilever Board™、CURVE™ Board、BoS™ Headframeに対応するよう設計されています。

## 一般的な使用に関する警告

以下のCTアダプターを使用する場合、デバイスをカウチトップの端から突き出す形で片持ち状態にしないでください。

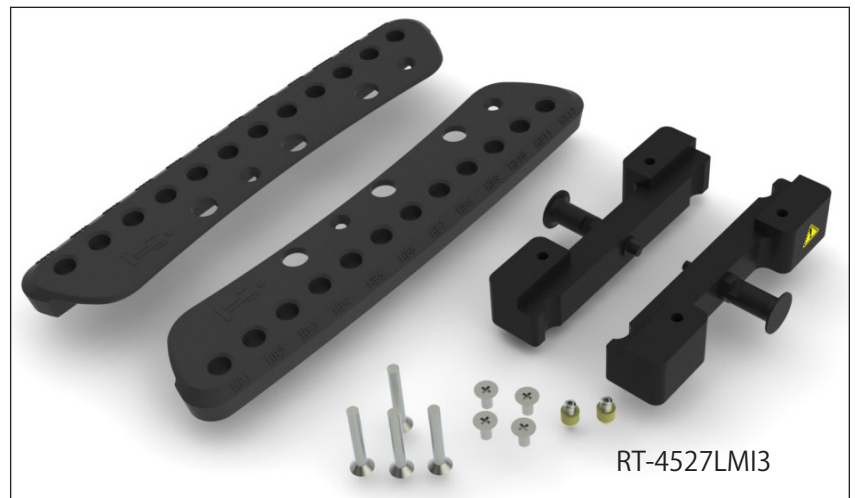
- RT-4527LTOMO7ページ)
- RT-4529M20ページ)
- RT-4527MTPCT22ページ)
- RT-4527EXA47534ページ)
- RT-4527PETCT36ページ)

カウチトップの端から突き出す形で片持ち状態で使用した場合、デバイスがカウチトップから落下し、患者が負傷するおそれがあります。

# アダプターのセットアップ

## RT-4527LMI3

ELEKTA/MEDICAL INTELLIGENCE I-BEAM™およびトモセラピーアダプター



必要な工具：プラスドライバー



**！警告！警告線を超えて圧力を加えると、デバイスアダプターとカウチトップの間に手を挟むおそれがあるので注意してください。**

4

取付ガイドおよび取扱説明書– 2002950\_IFU, Indexing Adapters\_JA

CQ Medical | +1 712.737.8688 | +1 800.842.8688 | [www.CQmedical.com](http://www.CQmedical.com)

# アダプターのセットアップ

## RT-4527LMI3

**!注記!**Encompass™などの厚さが28 mmあるデバイスに取り付ける場合は、セットアップを続行する前に、38ページのシムの取り付けを参照してください。

1. アダプターを各ハンドグリップアレイに取り付けます。ここではそれぞれ1/4-20 x 1 1/2インチのネジを2本使用して行います (図1)。
2. 黄色いコーン型の位置決めアダプターをデバイス下部に直接取り付けます (取り付けは両側に1つずつ)。(図2と図2a)
3. ハンドグリップアレイをデバイスに取り付けます。ここではそれぞれ140 mm (5.5インチ) 間隔で配置された2つの孔に1/4-20 x 1/2インチのネジ2本を使用して取り付けます。(図3)

**!注記!**警告線を超えて圧力を加えると、デバイスアダプターとカウチトップの間に手を挟むおそれがあります。

**!注記!**ハンドグリップアレイの取り付けの詳細については、ハンドグリップアレイの製品ガイドおよび取扱説明書を参照してください。

4. 黄色のコーンをカウチトップ上面のインデックス孔に合わせ、デバイスをカウチトップに配置します。デバイスのカウチトップへの取り付け/取り外しは、プランジャーをひねって引くことで行います。

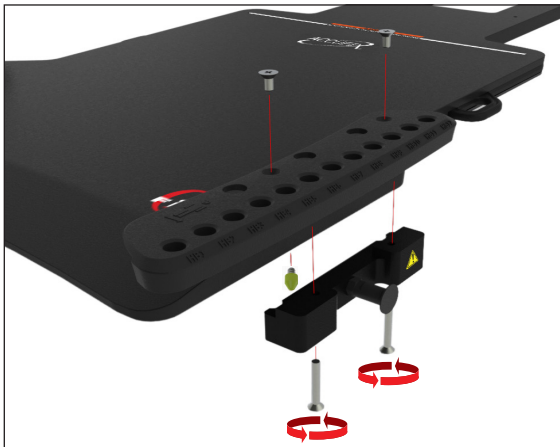


図1

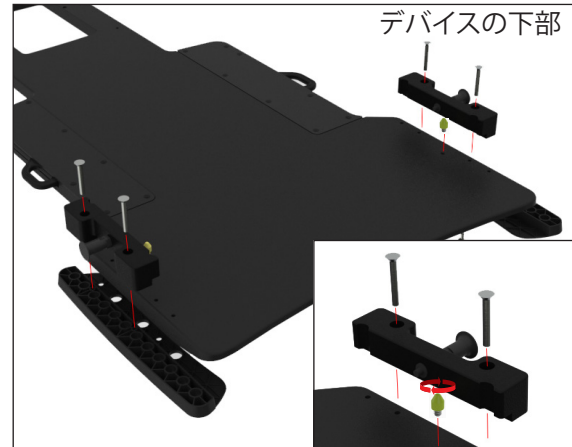


図2

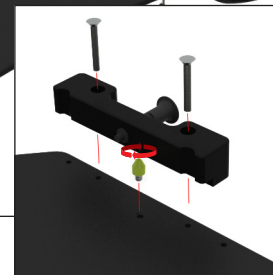


図2a

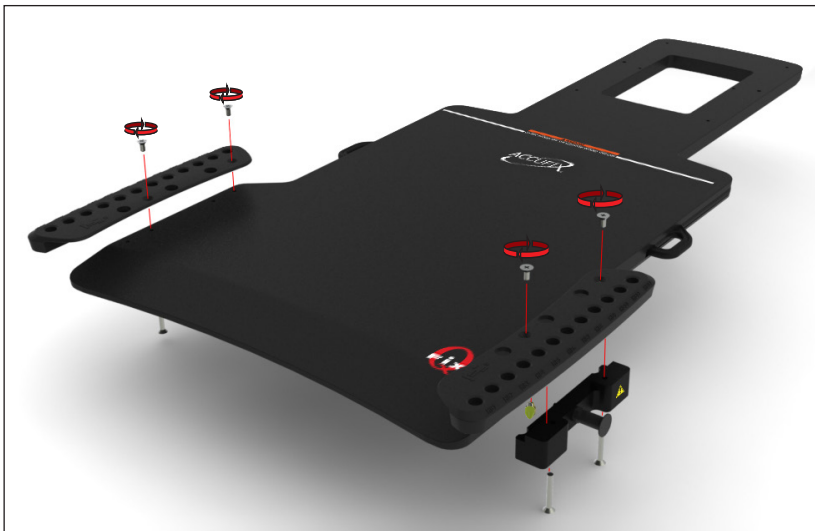


図3

# アダプターのセットアップ

## RT-4527LTOMO



**!警告!**このアダプターを使用する際は、デバイスをカウチトップの端から突き出す形で片持ち状態にしないでください。デバイスがカウチトップから落下し、患者が負傷するおそれがあります。

# アダプターのセットアップ

## RT-4527LTOM0

1. 黄色いコーン型の位置決めアダプターをデバイス下部に直接取り付けます (取り付けは両側に1つずつ) (図4および5)。
2. 黄色のコーンをカウチトップ上面のインデックス孔に合わせ、デバイスをカウチトップに配置します。

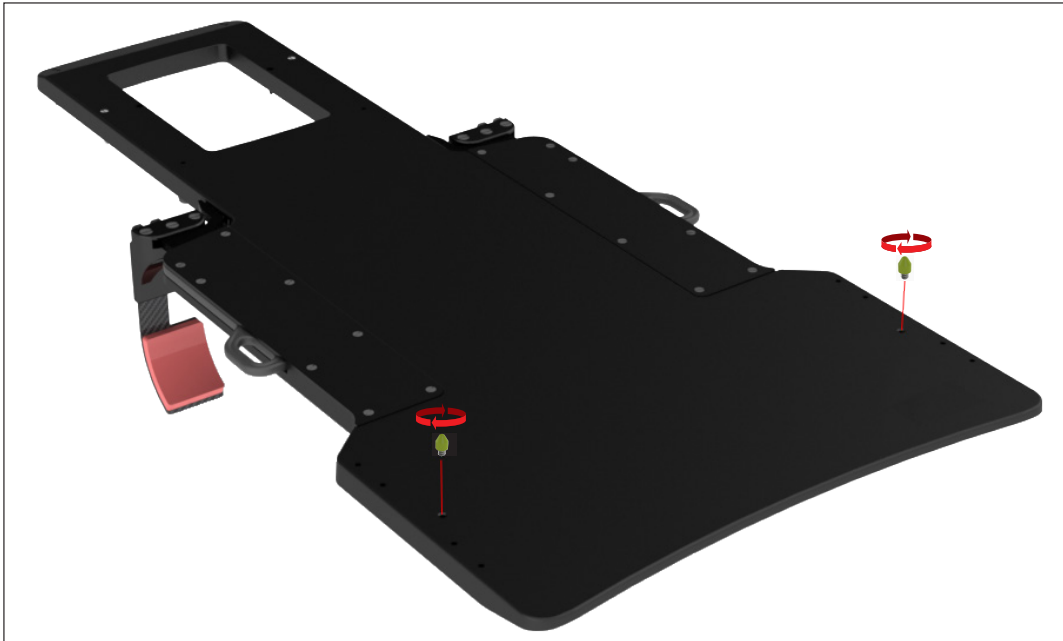


図4

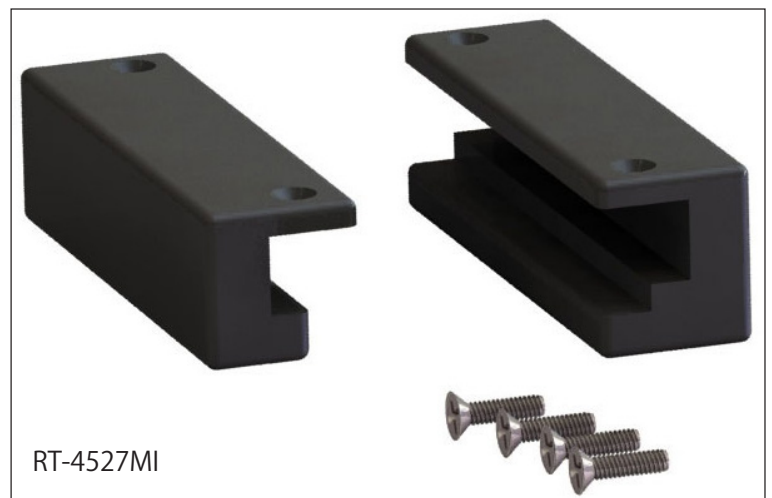


図5

# アダプターのセットアップ

## RT-4527MI

ELEKTA/MEDICAL INTELLIGENCE I-BEAM™およびトモセラピーアダプター



必要な工具: プラスドライバー

# アダプターのセットアップ

## RT-4527MI

1. いずれかのアダプターをデバイスの片側の下図の位置に取り付けます。ここではそれぞれ  $\frac{1}{4}$ -20 x  $\frac{1}{2}$  インチのネジ2本を使用して取り付けます。(図6)

**!注記!** 任意の孔を使用できますが、ハンドグリップアレイが取り付けられている場合は、アダプター用に利用可能な孔を使用してください。

2. 反対側のアダプターでも取り付け手順を繰り返します(図7)。
3. 2ピン位置決めバーを目的の位置に配置します(取り付け後は位置決めバーのピンとデバイス下部の孔が揃った状態になります)(図6、7、8)。
4. デバイスをカウチトップに取り付けます。ここでは2つのアダプターのうち大きい方を最初にカウチトップに引っ掛けてから小さい方のアダプターを引っ掛け、2ピン位置決めバーを用いてデバイスの位置を確定します。

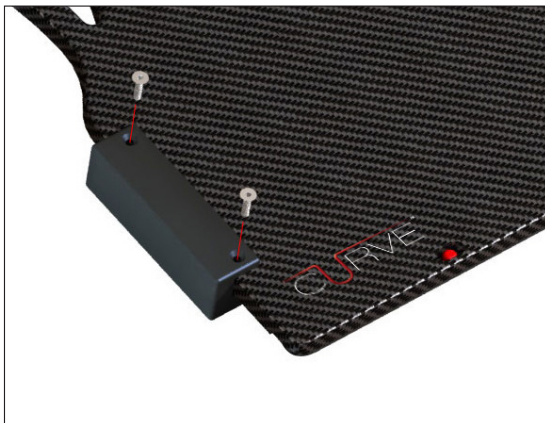


図6

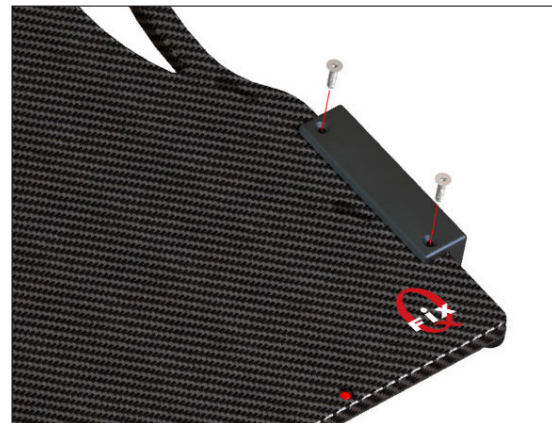


図7

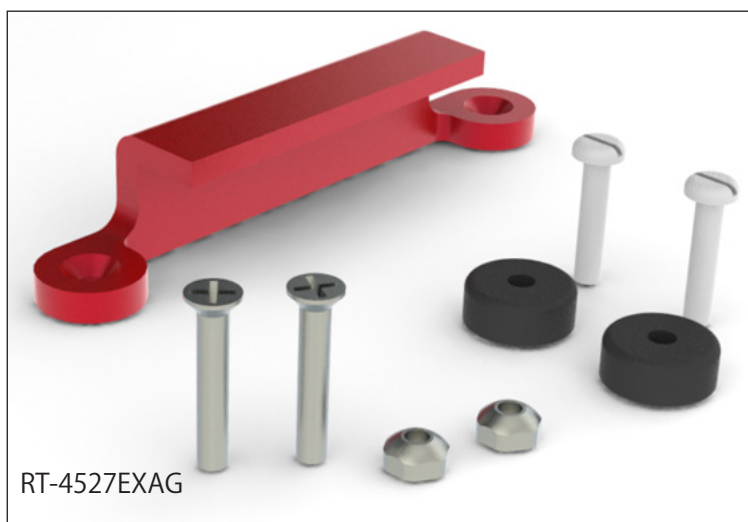


図8

# アダプターのセットアップ

## RT-4527EXAG

VARIAN EXACT®アダプター



必要な工具：プラスおよびマイナスドライバー

# アダプターのセットアップ

## RT-4527EXAG

1. 赤色のアダプターをデバイスに取り付けます。ここでは140 mm (5.5インチ) 間隔で配置された2つの孔に $\frac{1}{4}$ -20 x  $1\frac{3}{8}$ インチのネジ2本を使用して取り付けます。次に、2個の $\frac{1}{4}$ -20安全ナットをデバイス上部のネジに取り付けます (図9)。

**!注記!**アダプターは、デバイスの右側と左側のどちらにも取り付けることができます。任意の孔を使用できますが、ハンドグリップアレイが取り付けられている場合は、アダプター用に利用可能な孔を使用してください。

2. 位置決めディスク2枚を位置決めアダプターの反対側に取り付けます。ここではそれぞれ対応する孔に $\frac{1}{4}$ -20 x  $1\frac{1}{4}$ インチのネジを1本ずつ使用して取り付けます (図10)。
3. デバイスのカウチトップへの取り付けでは、赤色のアダプターを片側に引っ掛けてから、位置決めディスクのある側をインデックスノッチに押し込んで固定します。



図9

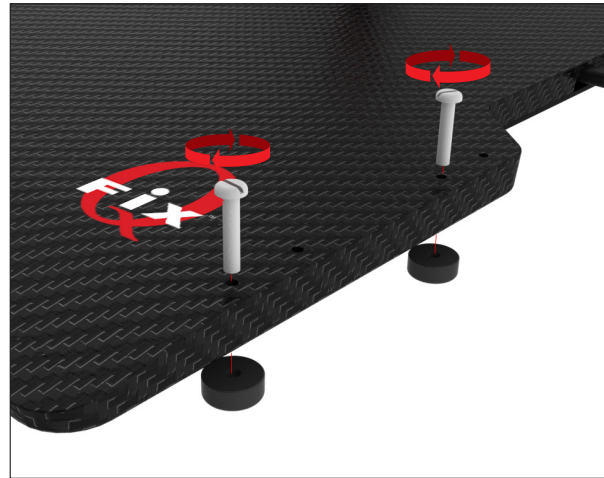


図10



図11

# アダプターのセットアップ

## RT-4527QFIX

QFIX™ KVUE™およびQUANTUM™アダプター



必要な工具：プラスおよびマイナスドライバー

# アダプターのセットアップ

## RT-4527QFIX

1. アダプターをデバイスに取り付けます。ここでは140 mm (5.5インチ) 間隔で配置された2つの孔に $\frac{1}{4}$ -20 x  $\frac{3}{4}$ インチのネジ2本を使用して取り付けます。アダプターのはみ出し部が内側を向いてQfixデバイスの縁にロックできることを確認します (図12)。

**!注記!**アダプターは、デバイスの右側と左側のどちらにも取り付けることができます。任意の孔を使用できますが、ハンドグリップアレイが取り付けられている場合は、アダプター用に利用可能な孔を使用してください。

2. 位置決めディスク2枚を位置決めアダプターの反対側に取り付けます。ここではそれぞれ対応する孔に $\frac{1}{4}$ -20 x 1 $\frac{1}{4}$ インチネジを1本ずつ使用して取り付けます (図13)。

3. デバイスのカウチトップへの取り付けでは、アダプターをカウチトップの片側に引っ掛けてから、位置決めディスクのある側をインデックスノッチに押し込んで固定します。



図12

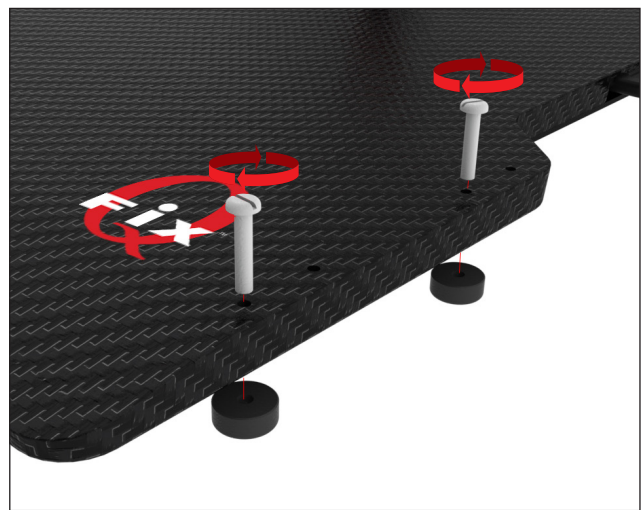


図13

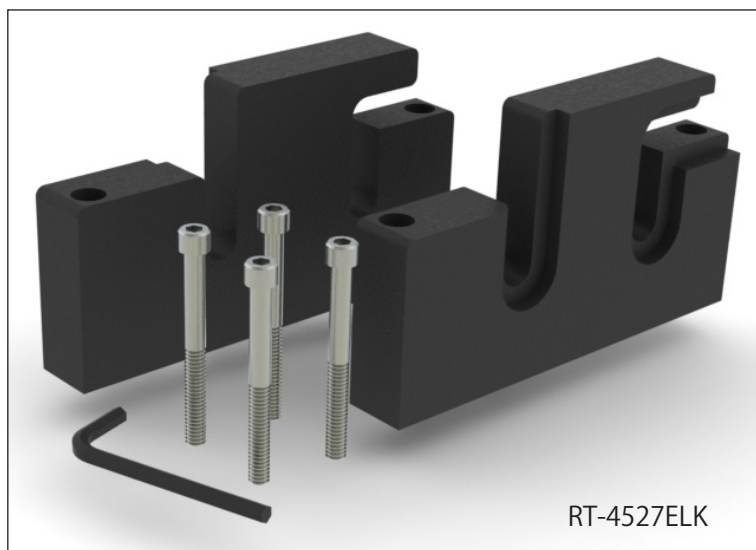


図14

# アダプターのセットアップ

## RT-4527ELK

ELEKTA PRECISE®



# アダプターのセットアップ

## RT-4527ELK

1. アダプターの取り付けでは、滑らかな面がデバイスの外側になるようにして、下図の位置に設置します。ここでは 140 mm (5.5インチ) 間隔で配置された2つの孔に ¼-20 x 2 ½インチのキャップネジ2本と付属の六角レンチを使用して取り付けます (図14)。

**!注記!** 任意の孔を使用できますが、ハンドグリップアレイが取り付けられている場合は、アダプター用に利用可能な孔を使用してください。

2. 反対側のアダプターについても取り付け手順を繰り返しますが、その際はアダプターの滑らかな面が外側に向けた状態を維持するようにします (図15)。

3. アダプターをアクセサリ装着用レールのスタンドオフに引っ掛けて、デバイスをカウチトップ上へ取り付けます。



図15

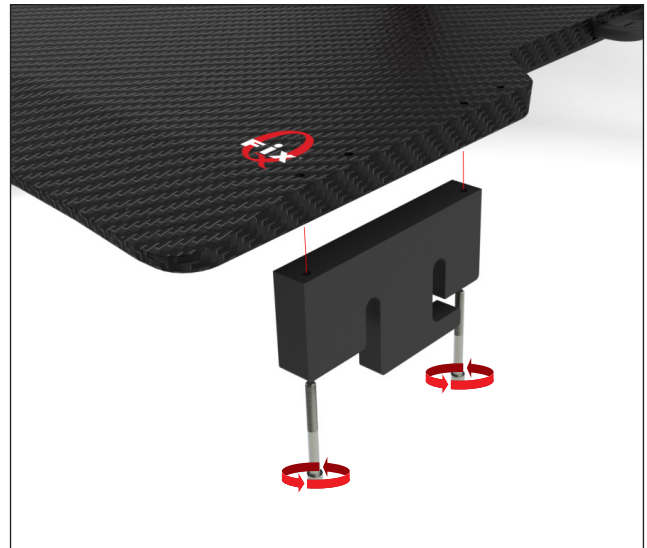


図16



図17

# アダプターのセットアップ

## RT-4529M

VARIAN EXACT® 互換CT



必要な工具：マイナスドライバー



このCTアダプターを使用する場合、デバイスをカウチトップの端から突き出す形で片持ち状態にしないでください。カウチトップの端から突き出す形で片持ち状態で使用した場合、デバイスがカウチトップから落下し、患者が負傷するおそれがあります。

# アダプターのセットアップ

## RT-4529M

1. 位置決めディスク2枚をデバイスの一方の側に取り付けます。ここでは140 mm (5.5インチ) 間隔で配置された2つの孔に、それぞれ $\frac{1}{4}$ -20 x 1  $\frac{1}{4}$ インチのネジを1本ずつ使用して取り付けます (図17)。

**!注記!** 任意の孔を使用できますが、ハンドグリップアレイが取り付けられている場合は、ディスク用に利用可能な孔を使用してください。

2. 残り2枚の位置決めディスクを、最初の2枚のディスクの反対側に取り付けます。ここではそれぞれ対応する孔に $\frac{1}{4}$ -20 x 1  $\frac{1}{4}$ インチのネジを1本ずつ使用して取り付けます (図18)。

3. 位置決めディスクをインデックスノッチに合わせて、デバイスをカウチトップに取り付けます。固定されるまでデバイスを押し下げます。

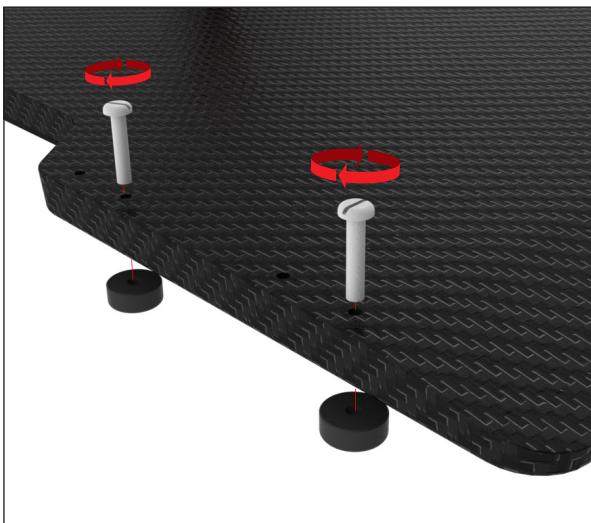


図18

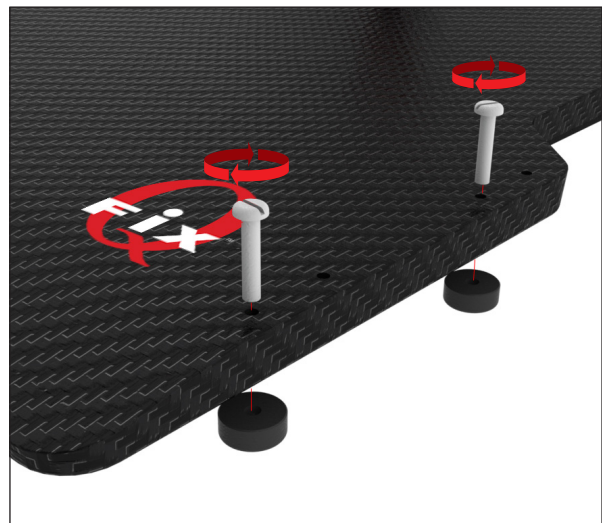


図19



図20

# アダプターのセットアップ

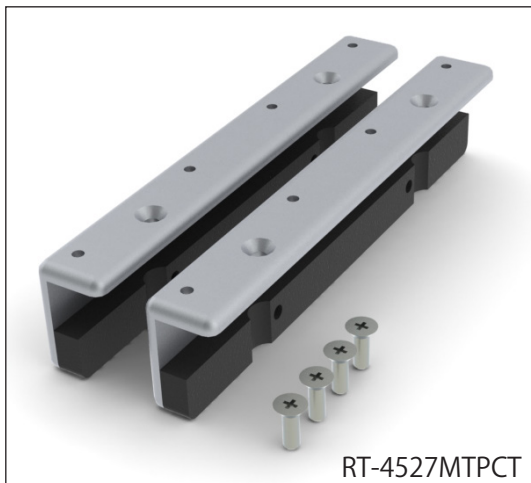
## RT-4527MTPCT

SIEMENS/MED-TEC PRODIGY™ CT



RT-4525L

RT-4527MTPCT



RT-4527MTPCT

必要な工具：プラスドライバー



このCTアダプターを使用する場合、デバイスをカウチトップの端から突き出す形で片持ち状態にしないでください。カウチトップの端から突き出す形で片持ち状態で使用した場合、デバイスがカウチトップから落下し、患者が負傷するおそれがあります。

# アダプターのセットアップ

## RT-4527MTPCT

1. アダプターを下図の位置に取り付けます。ここでは140 mm (5.5インチ) 間隔で配置された2つの孔に $\frac{1}{4}$ -20 x  $\frac{3}{4}$ インチのネジ2本を使用して取り付けます (図20および21)。

**!注記!** 任意の孔を使用できますが、ハンドグリップアレイが取り付けられている場合は、アダプター用に利用可能な孔を使用してください。

2. 反対側のアダプターについても取り付け手順を繰り返しますが、その際はアダプターの滑らかな面が外側に向いた状態を維持するようにします。

3. アダプターをカウチトップ側面のインデックスに合わせて、デバイスを取り付けます。固定されるまでデバイスを押し下げます。

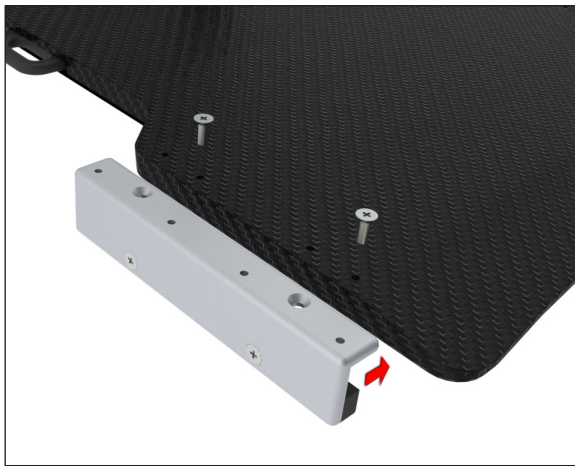


図21

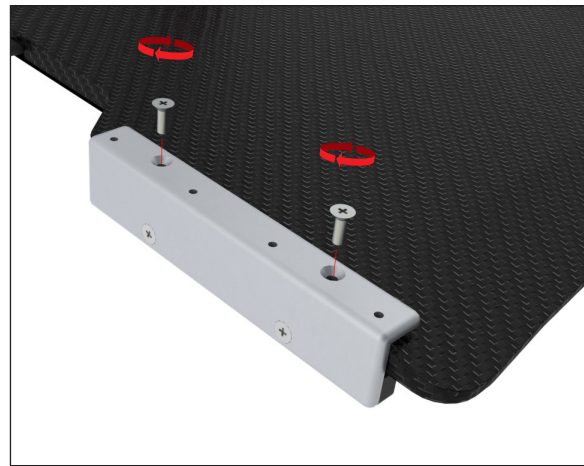


図22

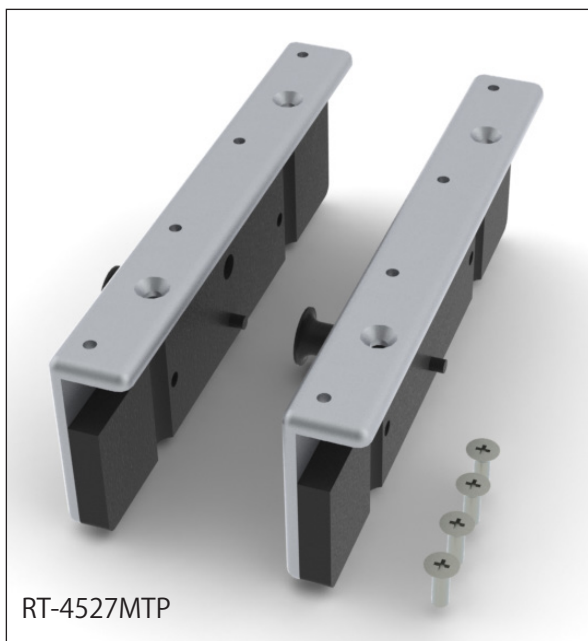


図23

# アダプターのセットアップ

## RT-4527MTP

SIEMENS/MED-TEC PRODIGY™



必要な工具：プラスドライバー

# アダプターのセットアップ

## RT-4527MTP

1. アダプターを下図の位置に取り付けます。ここでは140 mm (5.5インチ) 間隔で配置された2つの孔に $\frac{1}{4}$ -20 x  $\frac{3}{4}$ インチのネジ2本を使用して取り付けます (図24および25)。

**!注記!** 任意の孔を使用できますが、ハンドグリップアレイが取り付けられている場合は、アダプター用に利用可能な孔を使用してください。

2. 反対側のアダプターでも取り付け手順を繰り返します。

3. アダプターをカウチトップ側面のインデックスに合わせて、デバイスを取り付けます。デバイスのカウチトップへの取り付け/取り外しは、プランジャーをひねって引くことで行います。



図24



図25

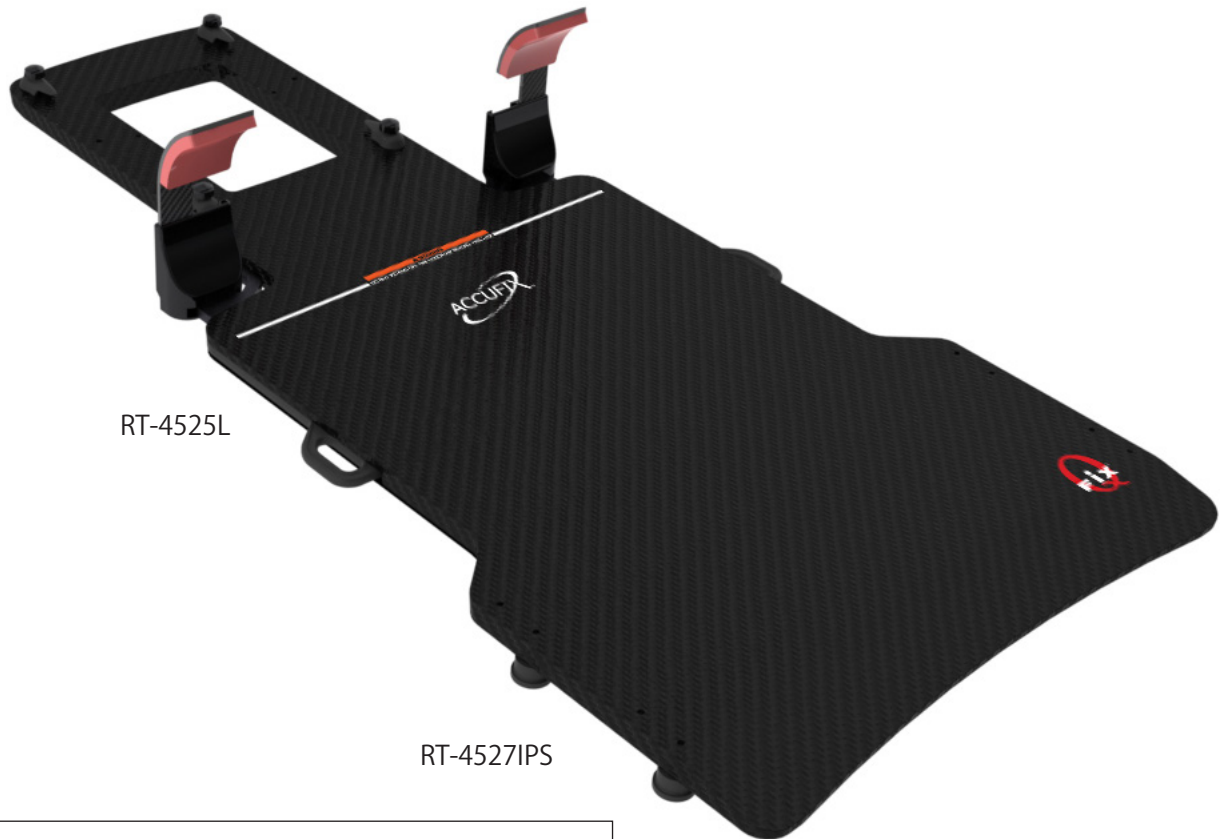


図26

# アダプターのセットアップ

## RT-4527IPS

SIEMENS/MED-TEC PRODIGY™



# アダプターのセットアップ

## RT-4527IPS

1. 位置決めディスク (縁付き) 2枚をデバイスの一方の側に取り付けます。ここでは140 mm (5.5インチ) 間隔で配置された2つの孔に、それぞれ1/4-20 x 1 1/4インチのネジを1本ずつ使用して取り付けます (図27)。

**!注記!** 任意の孔を使用できますが、ハンドグリップアレイが取り付けられている場合は、ディスク用に利用可能な孔を使用してください。

2. 残り2枚の位置決めディスク (縁なし) を、最初の2枚のディスクの反対側に取り付けます。ここではそれぞれ対応する孔に1/4-20 x 1 1/4インチのネジを1本ずつ使用して取り付けます (図28)。

3. ディスクをインデックスノッチに合わせ、最初に縁付きのディスクをカウチトップに引っ掛けて、デバイスをカウチトップへ取り付けます。デバイスが固定されるまで、反対側を押し下げます。

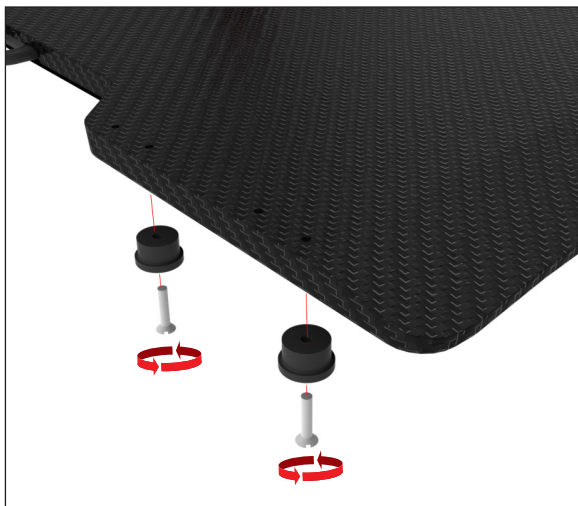


図27

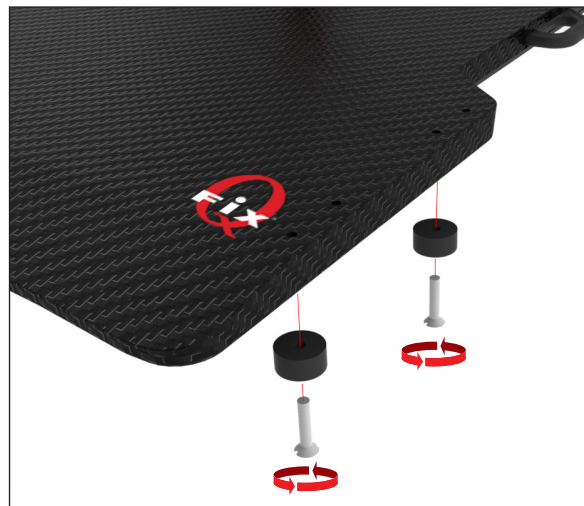


図28

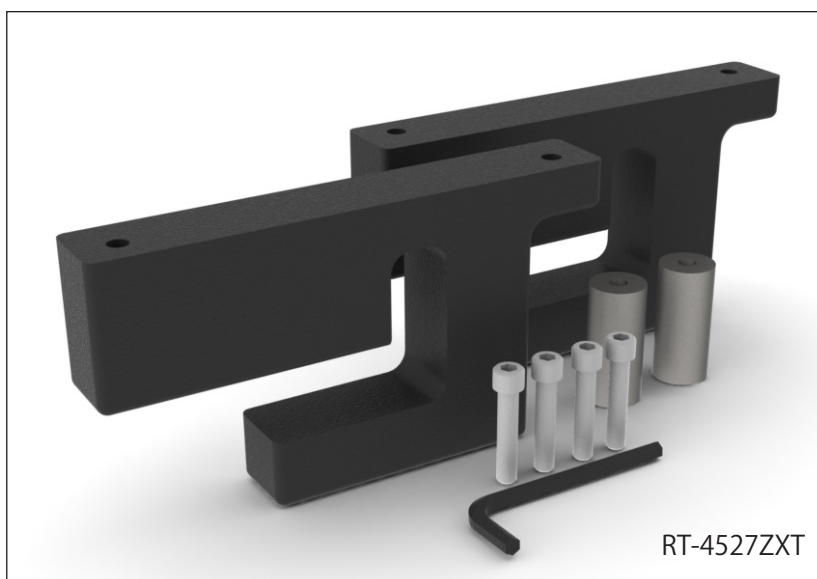


図29

# アダプターのセットアップ

## RT-4527ZXT

SIEMENS ZXT



# アダプターのセットアップ

## RT-4527ZXT

1. ZXTカウチの角型スタンドオフを、付属の丸形スタンドオフに交換します。(図30)
2. アダプターを下図の位置に取り付けます。ここでは140 mm (5.5インチ) 間隔で配置された2つの孔に $\frac{1}{4}$ -20 x 1  $\frac{1}{4}$  インチのキャップネジ2本と付属の六角レンチを使用して取り付けます(図31)。

**!注記!**アダプターには右用と左用があります。取り付け後のアダプターがデバイス側面と同一平面になっていることを確認してください。(図32)

**!注記!**任意の孔を使用できますが、ハンドグリップアレイが取り付けられている場合は、ディスク用に利用可能な孔を使用してください。

3. 反対側のアダプターでも取り付け手順を繰り返します(図33)。
4. アダプターをアクセサリ装着用レールのスタンドオフに引っ掛けて、デバイスをカウチトップ上へ取り付けます(図34)。



図30



図31

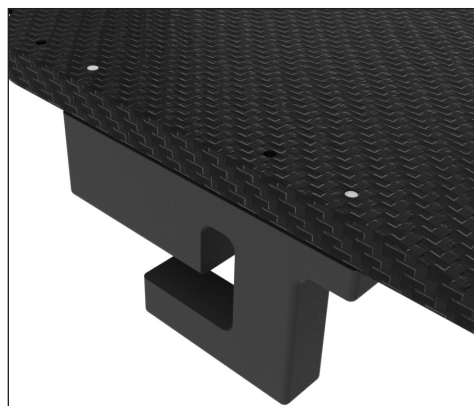


図32

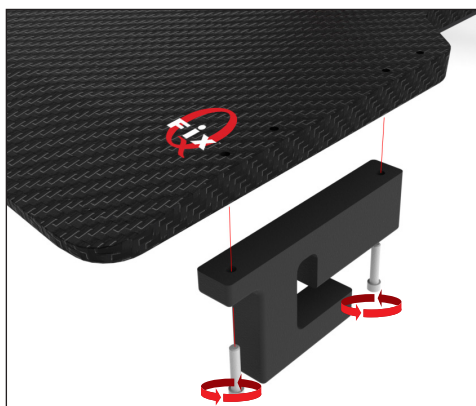


図33

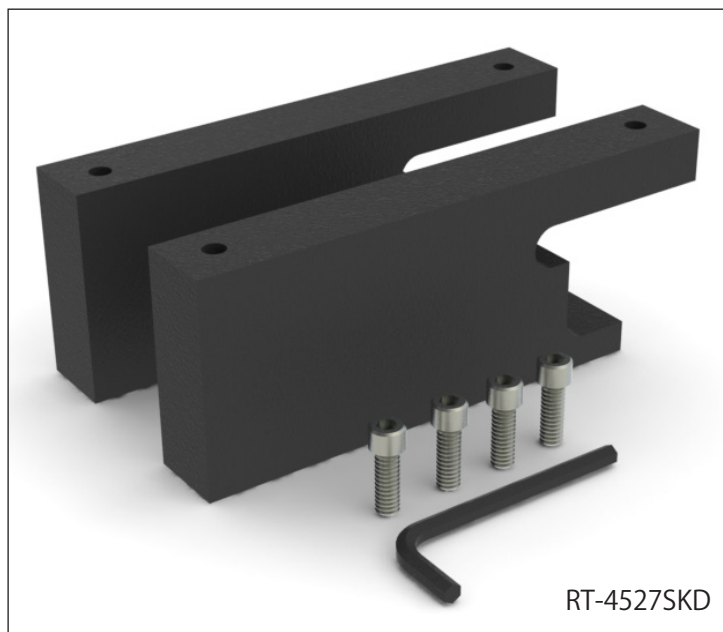
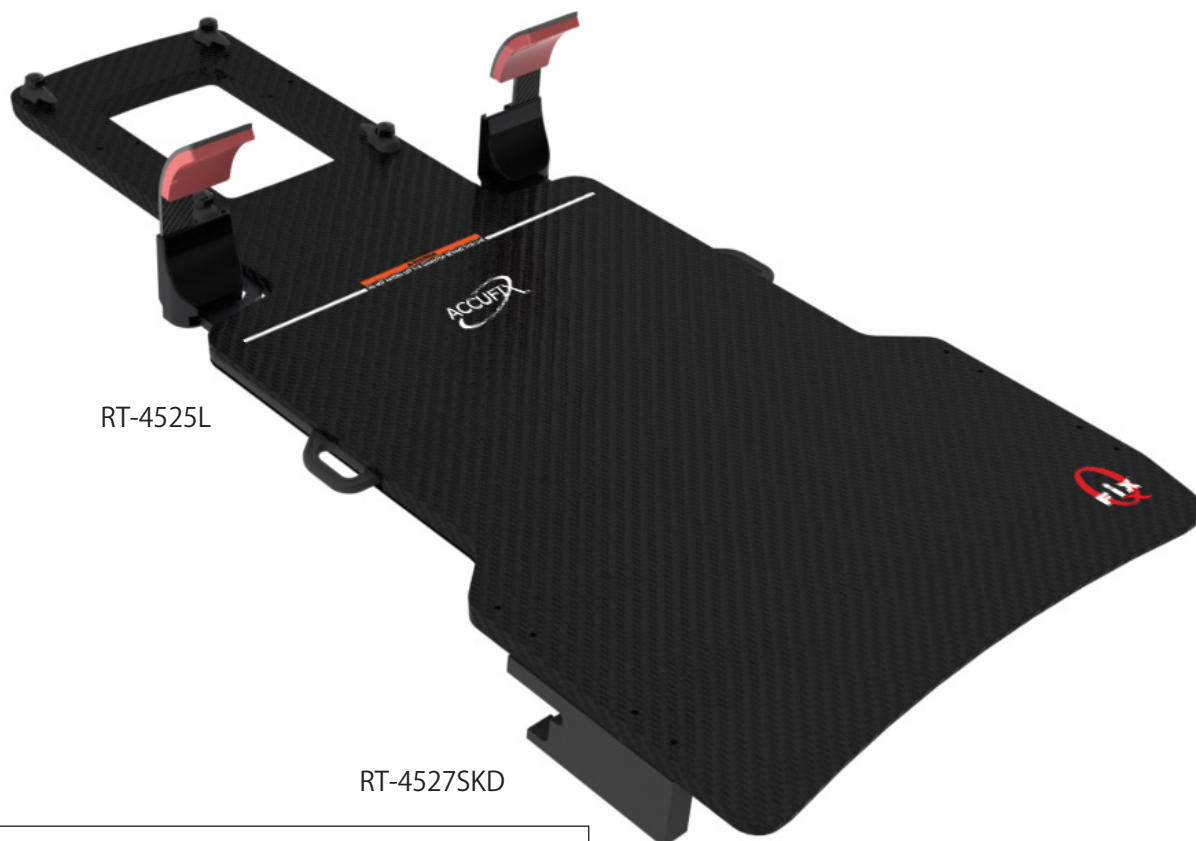


図34

# アダプターのセットアップ

## RT-4527SKD

SIEMENS KD



# アダプターのセットアップ

## RT-4527SKD

1. アダプターを下図の位置に取り付けます。ここでは140 mm (5.5インチ) 間隔で配置された2つの孔に $\frac{1}{4}$ -20 x  $\frac{3}{4}$ インチのキャップネジ2本と付属の六角レンチを使用して取り付けます (図35)。

**!注記!**アダプターには右用と左用があります。取り付け後のアダプターがデバイス側面と同一平面になっていることを確認してください。(図36)

**!注記!**任意の孔を使用できますが、ハンドグリップアレイが取り付けられている場合は、ディスク用に利用可能な孔を使用してください。

2. 反対側のアダプターでも取り付け手順を繰り返します (図37)。

3. アダプターをアクセサリ装着用レールのスタンドオフに引っ掛けて、デバイスをカウチトップ上へ取り付けます。



図35

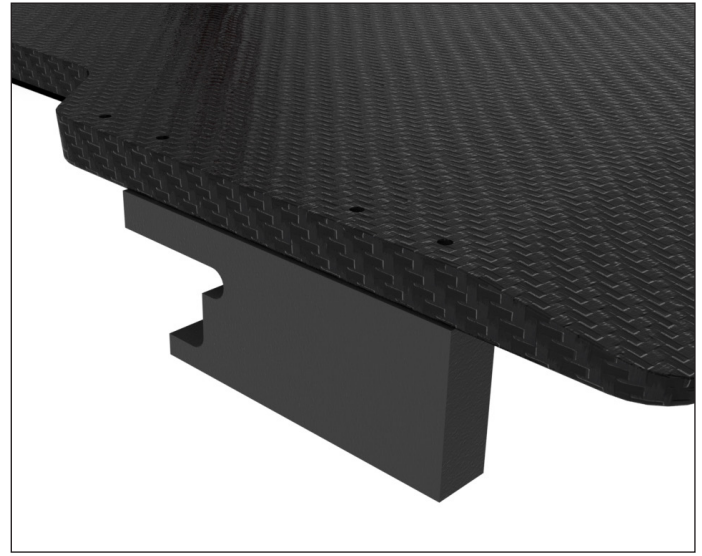


図36

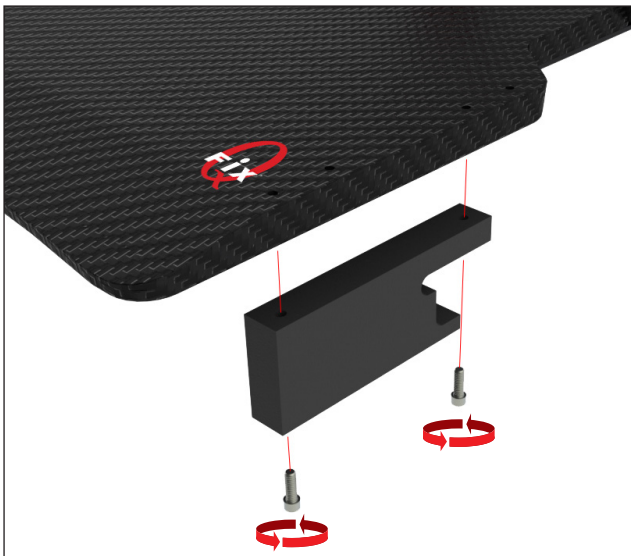


図37

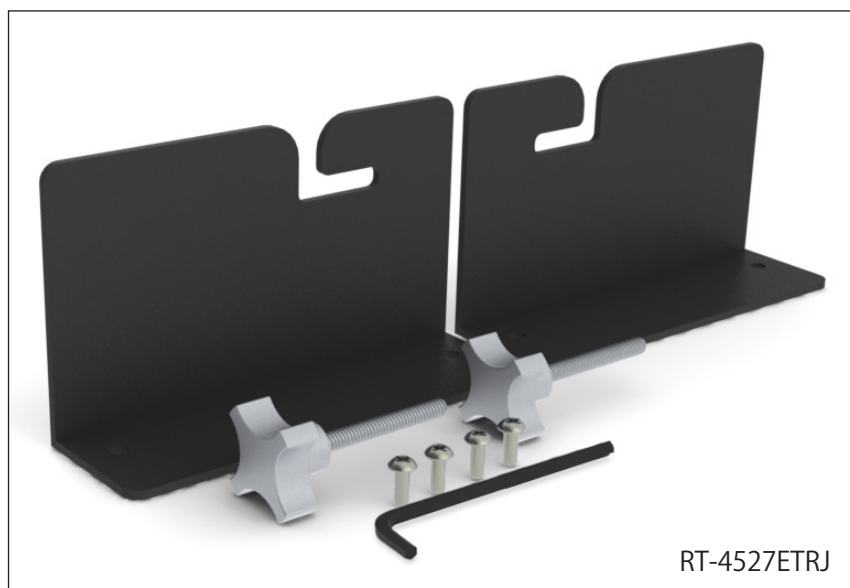


図38

# アダプターのセットアップ

## RT-4527ETRJ

VARIAN ETR



# アダプターのセットアップ

## RT-4527ETRJ

1. ETRカウチ上端から3番目の六角ネジを、付属の六角レンチを使用して取り外します。(図39)
  2. カウチの反対側でも同じ手順を繰り返します。
  3. 六角ネジの代わりに付属のノブを取り付けます。このノブは、カウチの一部として永続的に保持されます。ノブは完全に締め付けないようして0.5 cm程度の可動範囲を残してください(図40)。
  4. カウチの反対側でも同じ手順を繰り返します。
  5. アダプターを下図の位置に取り付けます。ここでは140 mm (5.5インチ) 間隔で配置された2つの孔に $\frac{1}{4}$ -20 x  $\frac{1}{2}$ インチのネジ2本を使用して取り付けます(図41)。
- !注記!任意の孔を使用できますが、ハンドグリップアレイが取り付けられている場合は、ディスク用に利用可能な孔を使用してください。**
6. 反対側のアダプターでも取り付け手順を繰り返します(図42)。
  7. アダプターをノブのシャフトに引っ掛けて、デバイスをカウチトップ上へ取り付けます。ノブを締め付けて固定します。(図43)



図39



図40

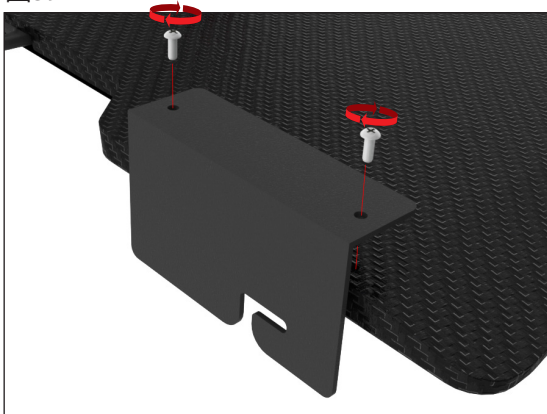


図41

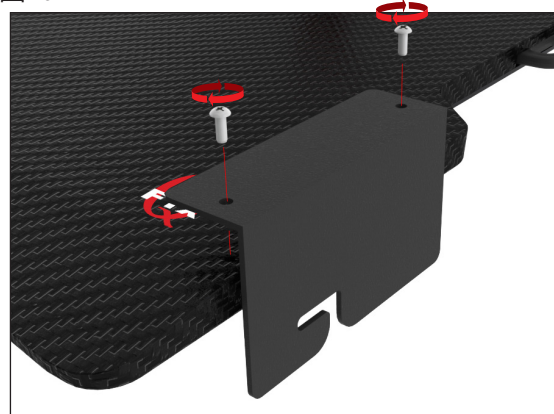


図42

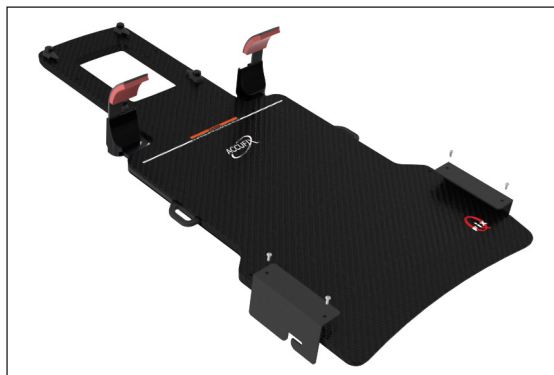


図43

# アダプターのセットアップ

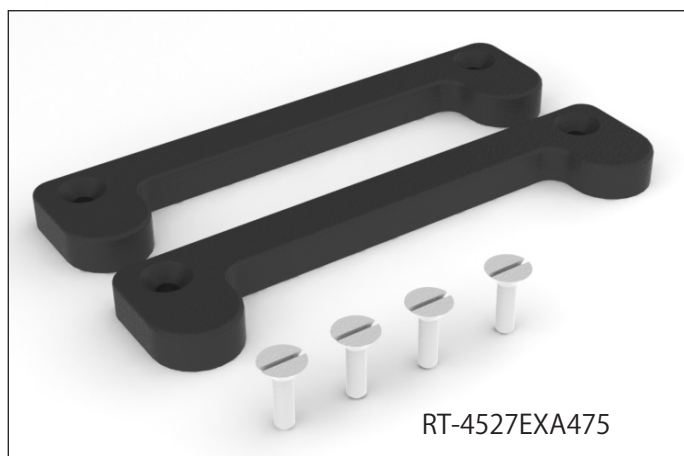
## RT-4527EXA475

NARROW EXACT®スタイル500 MM幅インデックスCTオーバーレイ



RT-4525L

RT-4527EXA475



RT-4527EXA475

必要な工具: マイナスドライバー



このCTアダプターを使用する場合、デバイスをカウチトップの端から突き出す形で片持ち状態にしないでください。カウチトップの端から突き出す形で片持ち状態で使用した場合、デバイスがカウチトップから落下し、患者が負傷するおそれがあります。

# アダプターのセットアップ

## RT-4527EXA475

1. アダプターを下図の位置に取り付けます。ここでは140 mm (5.5インチ) 間隔で配置された2つの孔に $\frac{1}{4}$ -20 x  $\frac{3}{4}$ インチのネジ2本を使用して取り付けます (図44)。

**!注記!** 任意の孔を使用できますが、ハンドグリップアレイが取り付けられている場合は、ディスク用に利用可能な孔を使用してください。

2. 反対側のアダプターでも取り付け手順を繰り返します (図45)。

3. アダプターをインデックスノッチに合わせて、デバイスをカウチトップに取り付けます。固定されるまでデバイスを押し下げます。



図44

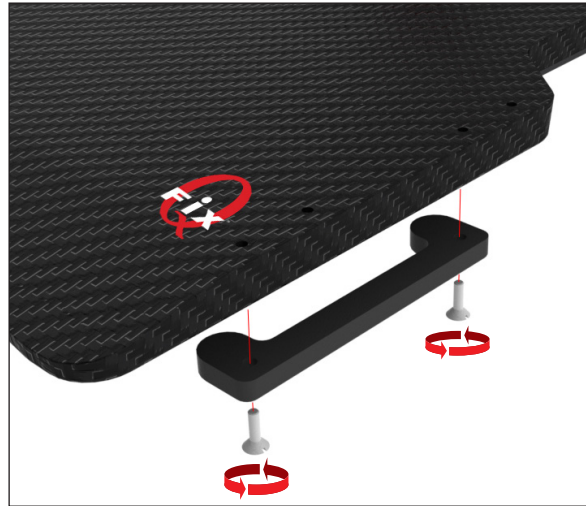


図45

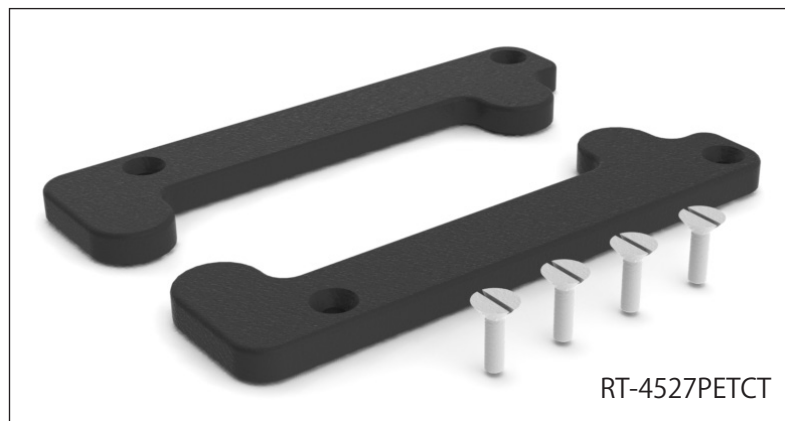


図46

# アダプターのセットアップ

## RT-4527PETCT

PHILIPS GEMINI™およびGE DISCOVERY™ LS 480 MM幅PET/CTオーバーレイ



必要な工具：マイナスドライバー



このCTアダプターを使用する場合、デバイスをカウチトップの端から突き出す形で片持ち状態にしないでください。カウチトップの端から突き出す形で片持ち状態で使用した場合、デバイスがカウチトップから落下し、患者が負傷するおそれがあります。

# アダプターのセットアップ

## RT-4527PETCT

1. アダプターを下図の位置に取り付けます。ここでは140 mm (5.5インチ) 間隔で配置された2つの孔に $\frac{1}{4}$ -20 x  $\frac{3}{4}$ インチのネジ2本を使用して取り付けます (図47)。

**!注記!** 任意の孔を使用できますが、ハンドグリップアレイが取り付けられている場合は、ディスク用に利用可能な孔を使用してください。

2. 反対側のアダプターでも取り付け手順を繰り返します (図48)。

3. アダプターをインデックスノッチに合わせて、デバイスをカウチトップに取り付けます。固定されるまでデバイスを押し下げます。



図47

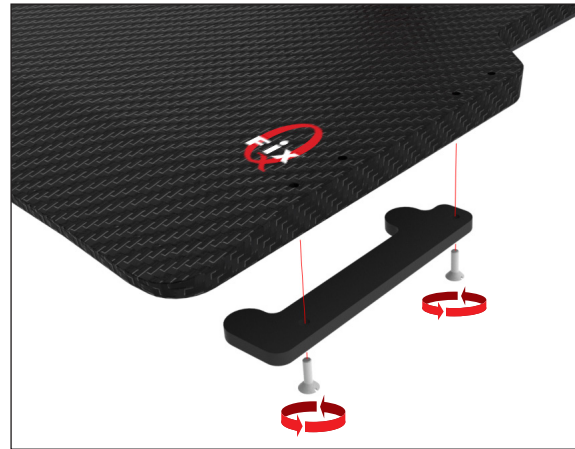


図48



図49

# シムの取り付け

## RT-4527PETCT

### RT-4527EXA (図50)

1. アダプターをハンドグリップアレイに固定している2本のネジを外します。
2. シムをアダプターとハンドグリップアレイの間に配置し、ネジ孔をシムの孔に合わせます。
3. 2本のネジを再度取り付けて固定します。
4. セットアップ手順を続けます。

### RT-4527LMI3 (図51)

1. アダプターをハンドグリップアレイに固定している2本のネジを外します。
2. シムをアダプターとハンドグリップアレイの間に配置し、ネジ孔をシムの孔に合わせます。
3. 2本のネジを再度取り付けて固定します。
4. セットアップ手順を続けます。



図50



図51





[www.CQmedical.com](http://www.CQmedical.com)

+1 712-737-8688 | +1 800-842-8688

[info@CQmedical.com](mailto:info@CQmedical.com)